

科目名	音楽 I	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化への理解を深める。	教科書 ・副教材等	音楽 I Tutti + (教育出版)		

評価		
観点	評価規準	方法
知識・技能	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。	・活動状況 ・実技テスト ・小テスト
思考・判断・表現	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。	・活動状況 ・実技テスト ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	・自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするこに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	・授業態度 ・活動状況 ・実技テスト ・小テスト

学習計画		
	学習内容	学習のねらい
1 学 期	1 歌唱 ・校歌、ポピュラーソング	・校歌の歴史と歌詞の意味を理解し歌えるようにする。 ・腹式呼吸と発声法を身に付け、のびやかな声で生き生きと表現できるようにする。
	2 音楽理論、ソルフェージュ ・音符と休符の種類 ・単音聴音、旋律聴音	・音符等の種類や音の聞き取りを通して、楽譜を読むために必要な知識や技能を身に付ける。
	3 鑑賞 ・西洋音楽（器楽曲）	・それぞれの時代背景や演奏形態、作曲者、楽曲の特徴などを学習し、そのよさや美しさを味わう。
	4 器楽 ・オカリナアンサンブル	・器楽を通してオカリナに親しむとともに、アンサンブルの楽しさを知る。
2 学 期	1 歌唱 ・日本歌曲を歌おう ・合唱	・楽譜中で出てくる記号や用語の意味を理解し、さらに曲想を感じとって表現できるようにする。 ・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動しながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。
	2 鑑賞 ・西洋音楽（交響曲）	・オーケストラで使用される楽器の種類と交響曲について学び、クラシック音楽に親しみを持つ。
3 学 期	1 鑑賞 ・日本と諸外国の音楽 ・総合芸術を知ろう	・日本の伝統音楽や郷土の芸能を鑑賞したり調べたりしながら、それぞれの特徴に対する理解を深め、魅力を味わう。 ・総合芸術の種類を知り、どのように舞台が作られるか学習する。
	2 歌唱 ・外国語歌曲を歌おう	・様々な国の歌曲を歌い、それぞれのよさを感じる。
	3 器楽（ギター） ・基本的な奏法 ・旋律	・楽器の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏する楽しさを味わう。
	4 卒業式の練習	・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 普通科	2年1組(選択) 2年2組(選択)
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化への理解を深める。	教科書 ・副教材等	MOUSA2(教育芸術社)			

評価		
観点	評価規準	方法
知識・技能	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。	・活動状況 ・実技テスト ・小テスト
思考・判断・表現	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。	・活動状況 ・実技テスト ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	・自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするこに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	・授業態度 ・活動状況 ・実技テスト ・小テスト

学習計画		
	学習内容	学習のねらい
1 学 期	1 歌唱 ・ポピュラーソング	・親しみやすい曲を通して、発声などの技能を身に付け、表現を工夫して歌うとともに、主体的・協働的に学習に取り組む意欲を高める。
	2 創作 ・テーブルミュージック	・1年次に習得した音符を用いて、リズムを組み立てながら楽典への理解を深めるとともに、リズムとパフォーマンスの組み合わせを考え、創意工夫をして作品を作る。 ・アンサンブルを通して奏法や表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。
	3 鑑賞 ・ミュージカル	・物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考える。
2 学 期	1 器楽(トーンチャイム) ・基本的な奏法 ・アンサンブル	・基本的な奏法と身体の使い方を理解し、良い音色で演奏できるような技能を習得する。 ・アンサンブルを通して、他者との調和を意識して楽曲を作り上げるとともに、音楽の良さを感じ取って演奏する。
	2 歌唱 ・外国語歌曲	・様々な言語の歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、表現を工夫して個性豊かに歌う。
3 学 期	1 鑑賞 ・作曲家の生涯と作品 ・オペラ	・作曲家の生涯をたどり、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう。
	2 歌唱 ・アリアに挑戦しよう	・物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う。
	3 器楽(ギター) ・弾き歌い	・コード演奏について理解し、演奏方法を習得する。 ・曲想にあったストロークを用いて弾き歌いをする。
	4 卒業式の練習	・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。

科目名	音楽III	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。	教科書 ・副教材等	Joy of Music (教育芸術社)		
評価					
観点	評価規準		方法		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> <li>曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況</li> <li>実技テスト</li> <li>小テスト</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況</li> <li>実技テスト</li> <li>小テスト</li> </ul>		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点からとらえようとすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>活動状況</li> <li>実技テスト</li> <li>小テスト</li> </ul>		
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考查
1 学期	1 歌唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術歌曲</li> <li>日本歌曲</li> <li>混声合唱</li> </ul> 2 器楽 <ul style="list-style-type: none"> <li>ギター</li> </ul> 3 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>西洋の音楽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。</li> <li>音楽文化について理解を深め、音楽と人間のかかわりについて考えながら表現する。</li> <li>様々な奏法を習得する。</li> <li>コード奏によるアンサンブルをする。</li> <li>オーケストラの楽器について、理解しそれぞれの音色の特徴に留意しながら鑑賞する。</li> </ul>			実施なし
2 学期	1 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>西洋の音楽</li> <li>ミュージカル、オペラ</li> </ul> 2 合唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>輪唱</li> <li>混声合唱</li> <li>芸術歌曲</li> </ul> 3 器楽 <ul style="list-style-type: none"> <li>トーンチャイム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの時代背景や演奏形態、作曲者、楽曲の特徴などを学習し、そのよさや美しさを味わう。</li> <li>劇音楽への興味、関心を高める。</li> <li>パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動しながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。</li> <li>曲想に応じた発声の工夫ができる。</li> <li>楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。</li> <li>トーンチャイムに興味を持ち、音色の美しさを感じながら演奏でかけるようにする。</li> <li>音楽を協力して作り上げる楽しさを味わう。</li> </ul>			実施なし
3 学期	1 合唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>混声合唱</li> </ul> 2 卒業式の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心を持ち、表情豊かに表現する。</li> <li>式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。</li> <li>曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌う。</li> </ul>			実施なし

科目名	演奏研究	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択) 普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	音楽の基礎的な知識や技術を習得する活動を通して、音楽の構成する諸要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための能力を養う。	教科書 ・副教材等	Music Navigation (教育出版)		

評価		
観点	評価規準	方法
知識・技能	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。	・活動状況 ・実技テスト ・小テスト
思考・判断・表現	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。	・活動状況 ・実技テスト ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	・自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点からとらえようすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	・授業態度 ・活動状況 ・実技テスト ・小テスト

学習計画		
	学習内容	学習のねらい
1 学 期	1 歌唱 ・芸術歌曲、童謡	・言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。
	2 器楽 ・ピアノ	・連弾を通して、アンサンブルを楽しむ。 ・歌の伴奏ができるようにする。
	3 視唱 ・コールユーブンゲン ・コンコーネ	・視唱力を高め、楽譜を見て歌えるようにする。 ・正確な音程感を養い、歌唱の技術を高める。
	4 音楽理論 ・音名、音価、音程	・楽譜を様々な音名で読めるようにする。 ・音符や休符、音価、音程について理解する。
2 学 期	1 音楽理論 ・音階、和音	・音階や和音について理解し、聴音や視唱ができる基礎的能力を養う。
	2 合唱 ・3部合唱	・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動をしながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。 ・曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心を持ち、表現する。
	3 器楽 ・トーンチャイム ・ピアノ	・トーンチャイムに興味を持ち、音色の美しさを感じながら演奏できるようにする。 ・音楽を協力して作り上げる楽しさを味わう。
	4 歌唱 ・芸術歌曲	・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。
3 学 期	1 音楽理論 ・コードネーム	・和音の種類やコードネームを理解する。 ・ピアノでコード伴奏ができるようにする。
	2 卒業式の練習	・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。